

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】令和 3 年 9 月 9 日 (2021.9.9)

【公表番号】特表 2021-518721 (P2021-518721A)
 【公表日】令和 3 年 8 月 2 日 (2021.8.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2021-034
 【出願番号】特願 2020-554130 (P2020-554130)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 W 72/12 (2009.01)

H 0 4 B 7/06 (2006.01)

【F I】

H 0 4 W 72/04 1 3 6

H 0 4 W 72/04 1 3 1

H 0 4 W 72/12 1 3 0

H 0 4 B 7/06 9 5 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 11 月 12 日 (2020.11.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

実際に送信された同期信号ブロックの数に従って、少なくとも 1 つの物理ダウンリンク制御チャネル (PDCCH) オケージョンにおいて少なくとも 1 つの時間領域リソースユニットを取得するステップであって、前記少なくとも 1 つの PDCCH オケージョンが前記実際に送信された同期信号ブロックのうちの 1 つに関連付けられている、ステップと、

前記少なくとも 1 つの時間領域リソースユニット上のシステム情報の PDCCH を受信するステップと、

を含む、通信方法。

【請求項 2】

前記少なくとも 1 つの PDCCH オケージョンは、システム情報ウィンドウに含まれる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記システム情報ウィンドウの時間長は、80ms、160ms、320ms、または 640ms である、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記システム情報ウィンドウは 1 つまたは複数の PDCCH オケージョンを含み、各 PDCCH オケージョンは前記実際に送信された同期信号ブロックのうちの 1 つに関連付けられる、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記実際に送信された同期信号ブロックの前記数に従って、前記少なくとも 1 つの PDCCH オケージョンにおいて前記少なくとも 1 つの時間領域リソースユニットを取得する前記ステップは、

前記実際に送信された同期信号ブロックの前記数および前記実際に送信された同期信号ブロックのインデックスに従って、前記少なくとも 1 つの PDCCH オケージョンにおいて前記

少なくとも1つの時間領域リソースユニットを取得するステップ

を含む、請求項1から4のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

前記少なくとも1つのPDCCHオケージョンは時間領域で離散的に分散される、請求項1から5のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

前記実際に送信された同期信号ブロックは、候補同期信号ブロックの一部または全部である、請求項1から6のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 8】

前記実際に送信された同期信号ブロックの各々は、一次同期信号（PSS）、二次同期信号（SSS）、および物理ブロードキャストチャネル（PBCH）を含む、請求項1から7のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

実際に送信された同期信号ブロックの数に従って、少なくとも1つの物理ダウンリンク制御チャネル（PDCCH）オケージョンにおいて少なくとも1つの時間領域リソースユニットを取得するステップであって、前記少なくとも1つのPDCCHオケージョンが前記実際に送信された同期信号ブロックのうちの1つに関連付けられている、ステップと、

前記少なくとも1つの時間領域リソースユニット上のシステム情報のPDCCHを送信するステップと、

を含む、通信方法。

【請求項 10】

前記少なくとも1つのPDCCHオケージョンは、システム情報ウィンドウに含まれる、請求項9に記載の方法。

【請求項 11】

前記システム情報ウィンドウの時間長は、80ms、160ms、320ms、または640msである、請求項10に記載の方法。

【請求項 12】

前記システム情報ウィンドウは、1つまたは複数のPDCCHオケージョンを含み、各PDCCHオケージョンは前記実際に送信された同期信号ブロックのうちの1つに関連付けられる、請求項10に記載の方法。

【請求項 13】

前記実際に送信された同期信号ブロックの前記数に従って、前記少なくとも1つのPDCCHオケージョンにおいて前記少なくとも1つの時間領域リソースユニットを取得する前記ステップは、

前記実際に送信された同期信号ブロックの前記数および前記実際に送信された同期信号ブロックのインデックスに従って、前記少なくとも1つのPDCCHオケージョンにおいて前記少なくとも1つの時間領域リソースユニットを取得するステップ

を含む、請求項9から12のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 14】

前記少なくとも1つのPDCCHオケージョンは時間領域で離散的に分散される、請求項9から13のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 15】

前記実際に送信された同期信号ブロックは、候補同期信号ブロックの一部または全部である、請求項9から14のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 16】

前記実際に送信された同期信号ブロックの各々は、一次同期信号（PSS）、二次同期信号（SSS）、および物理ブロードキャストチャネル（PBCH）を含む、請求項9から15のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 17】

少なくとも1つのプロセッサを含む装置であって、前記少なくとも1つのプロセッサはメ

メモリに結合され、前記メモリはプログラムまたは命令を格納するように構成され、前記プログラムまたは前記命令が前記少なくとも1つのプロセッサによって実行されると、前記装置は、請求項1から8のいずれか一項に記載の方法を実行することを可能にされる、装置。

【請求項 18】

少なくとも1つのプロセッサを含む装置であって、前記少なくとも1つのプロセッサはメモリに結合され、前記メモリはプログラムまたは命令を格納するように構成され、前記プログラムまたは前記命令が前記少なくとも1つのプロセッサによって実行されると、前記装置は、請求項9から16のいずれか一項に記載の方法を実行することを可能にされる、装置。

【請求項 19】

コンピュータ可読記憶媒体であって、前記コンピュータ可読記憶媒体はコンピュータプログラムまたは命令を格納し、前記コンピュータプログラムまたは前記命令が実行されると、コンピュータが請求項1から16のいずれか一項に記載の方法を実行することを可能にされる、コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 20】

請求項17に記載の装置と、請求項18に記載の装置と、を含む、通信システム。